

SPEEDER

高精度小口径管低耐荷力推進工法

スपीダー協会

イージーモール

SR-30KM

高精度小口径管低耐力推進工法

圧入式(スクリュ排土方式・泥水排土方式)

時代が要求するスピーディーな施工とメンテナンスフリー、
小口径推進機のノウハウが凝縮されたコンパクト機。

■簡単な操作性・スピーディーな施工・簡単な維持管理

■呼び径φ1,500mmの発進立坑より1m管を発進

■1ストローク多段ジャッキ採用により作業性向上

■可動式押しフランジの採用

■軽量・コンパクト

クレーン付4tトラック1台で必要部材一式が搬入搬出可能

推進機本体／1,274mm(全長)×958mm(全幅)×1,350mm(高さ)

推進機重量／1,250kg

油圧ユニット／1,600mm(全長)×800mm(全幅)×1,300mm(高さ)

油圧ユニット重量／1,300kg

■適応管種・管径

塩ビ管、鋼管

φ150～φ250mm・800L

φ150～φ250mm・1,000L

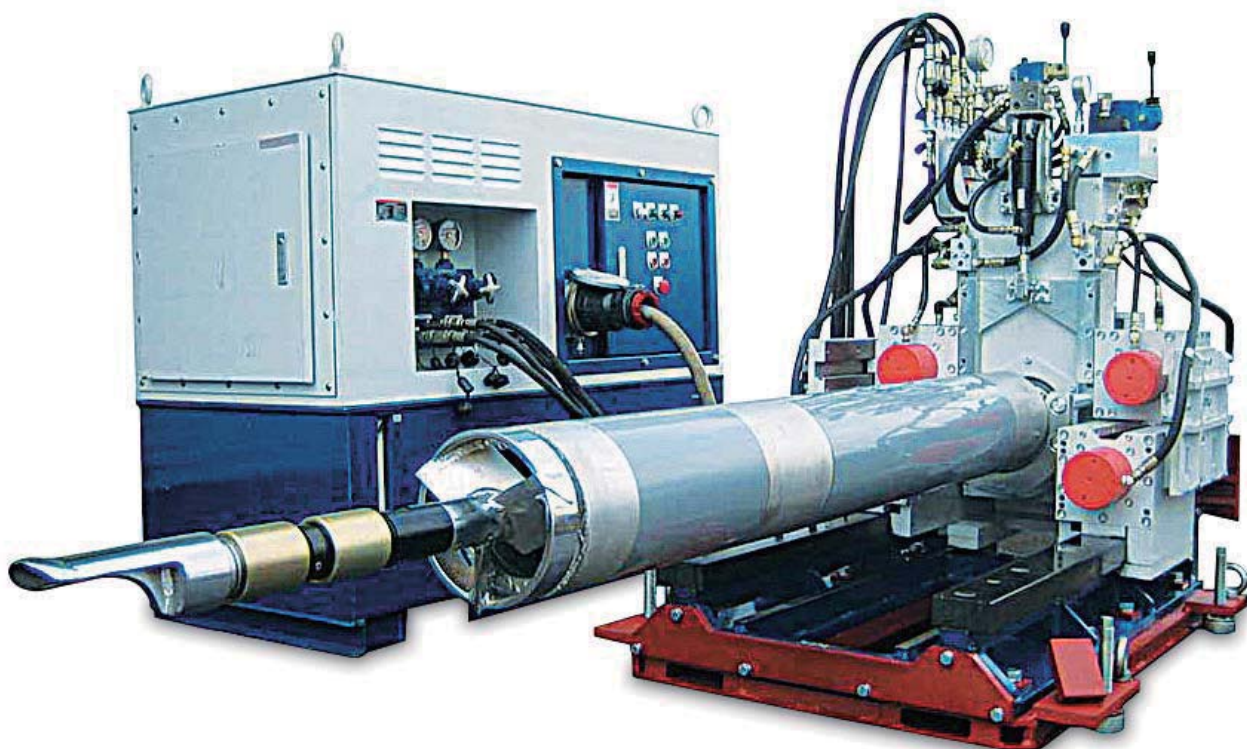
■幅広い土質対応

粘性土、シルト、礫混じり砂質土

N値 0≦N≦30

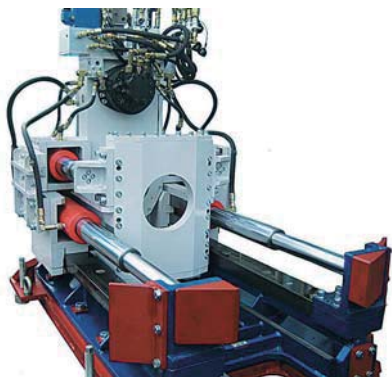
■最大推進距離

MAX 70m(土質条件による)



1ストローク多段ジャッキ採用

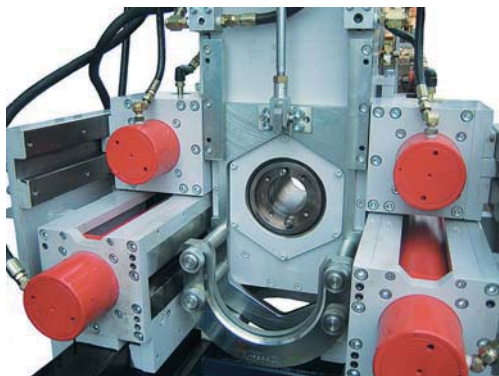
推進ジャッキの尺取作動、盛り返し作動がなくなり飛躍的に推進作業性が向上しました。



最前進時

可動式押しフランジの採用

従来は埋設管セット時に押しフランジの脱着作業が毎回必要でしたが、押しフランジを上下に可動させて埋設管セットスペースを確保する事により、推進作業性が飛躍的に向上しました。

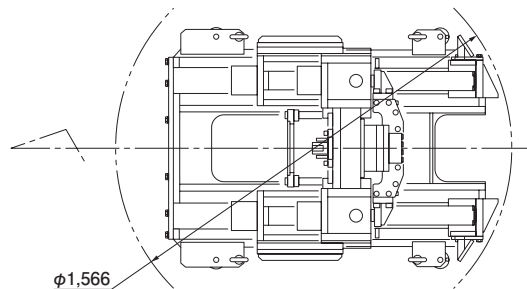
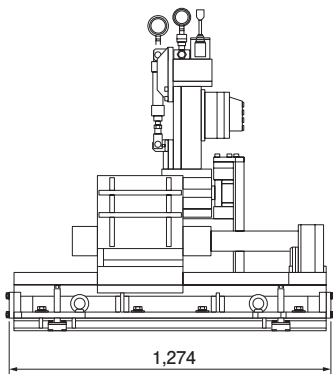
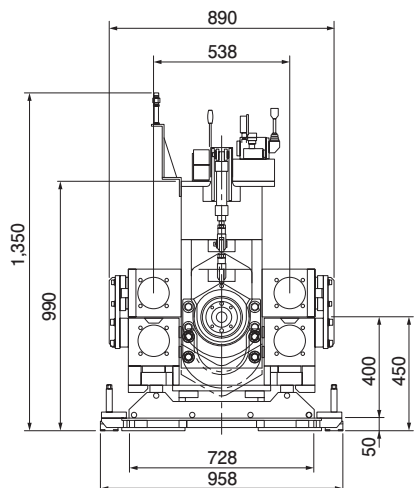


押しフランジ下降時

仕様

分類・方式		低耐力力管推進工法・圧入式
適用管種 管径・管長	塩ビ管 (JSWAS K-6) 鋼管	VP φ150~φ250mm・800L SGP φ150~φ250mm・800L VP φ150~φ250mm・1,000L SGP φ150~φ250mm・1,000L
システム	施工方法	リードパイプ推進時
		位置検出方法
		方向修正方式
		埋設管推進時
	推進距離	MAX 70m(土質・N値による)
	適用土質	土の種類
		礫混入率
		最大礫径
		N値
	発達立坑	水頭差
		鋼矢板(内寸)
		ケーシング立坑
		管芯高
	到達立坑	人孔
		矢板・ライナープレート
	推進勾配	下角〜上角
推進装置	フィードストローク	
	推進ジャッキ	推進力
		推進速度
		メインジャッキストローク
		サブジャッキストローク
	回転装置	回転軸トルク
		回転数
油圧ユニット	最大油圧力	
	吐出量	
	適用発電機	
	先導体	
	先頭カッター	
押アタッチメント構造		油圧シリンダによる上下作動

外形寸法図



SR-30FT

高精度小口径管低耐力推進工法

圧入式(スクリュ排土方式・泥水排土方式)

よりコンパクトに、よりスピーディーに。
φ1,500mmのライナープレートから、1mの塩ビ管を推進。

■操作、表示系統を集約した操作ボックスひとつで、遠隔操作が可能

■推力、回転力、塩ビ管推力がデジタル表示

■φ1,500mm立坑から発進可能

矢板 1,500mm(タテ) × 1,500mm(ヨコ)以上

ライナープレート φ1,500mm以上

ケーシング φ1,500mm以上

■軽量・コンパクト

クレーン付4tトラック1台で必要部材一式が搬入搬出可能

推進機本体/1,310mm(全長) × 1,000mm(全幅) × 1,340mm(高さ)

推進機重量/1,100kg

油圧ユニット/1,390mm(全長) × 820mm(全幅) × 1,400mm(高さ)

油圧ユニット重量/1,000kg

■適応管種・管径

塩ビ管、鋼管

φ150～φ300mm

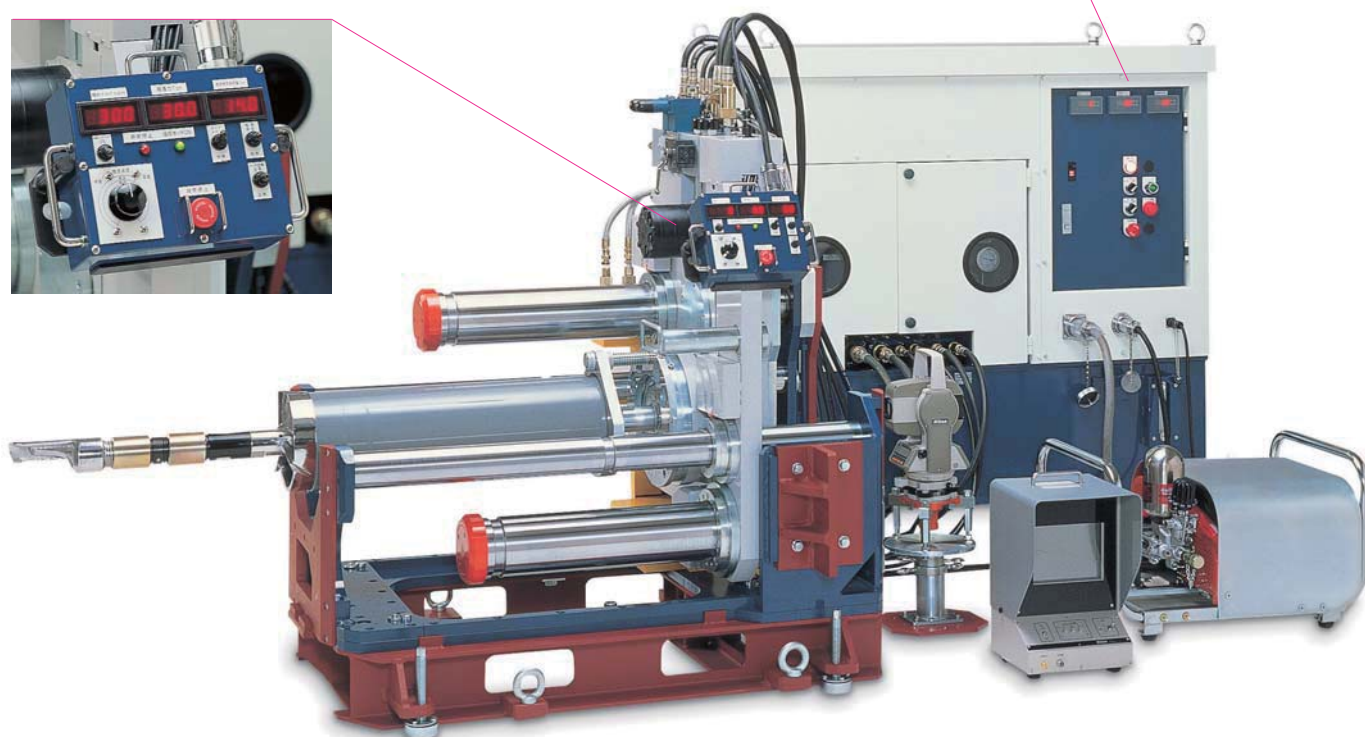
■幅広い土質対応

粘性土、シルト、礫混じり砂質土

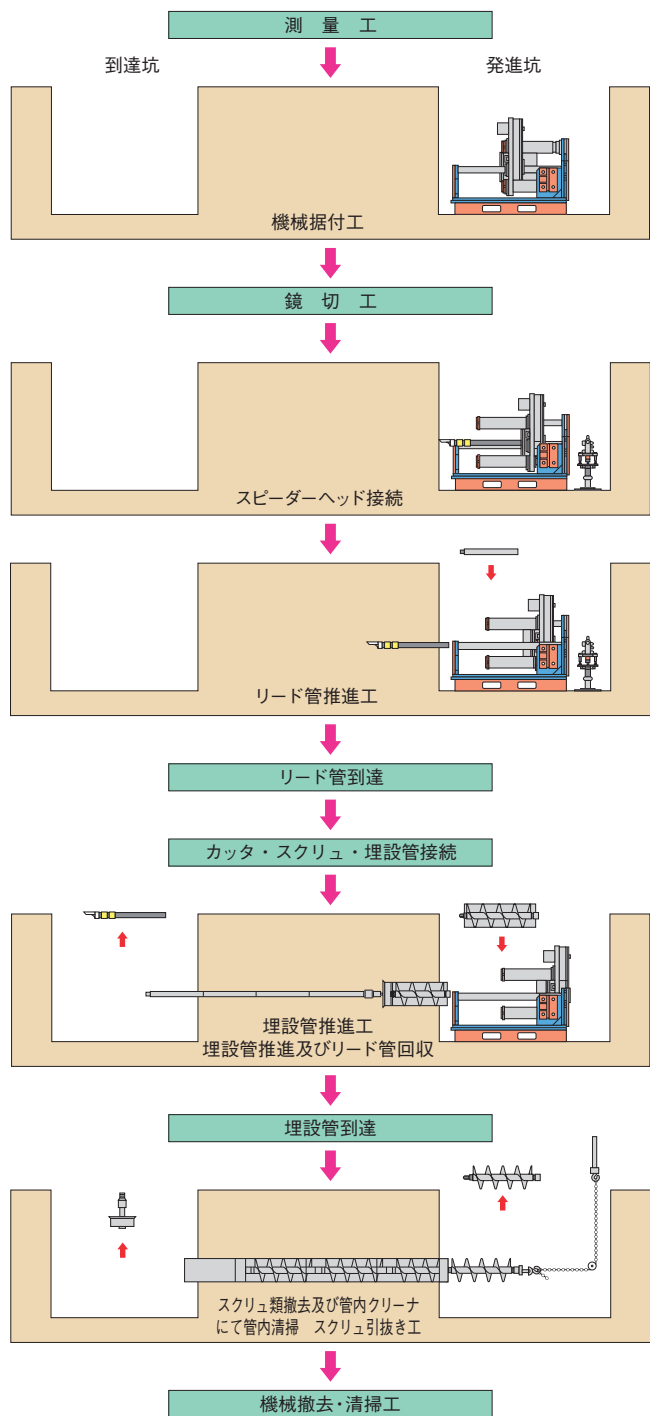
N値 0 ≤ N ≤ 30

■最大推進距離

MAX 70m(土質条件による)



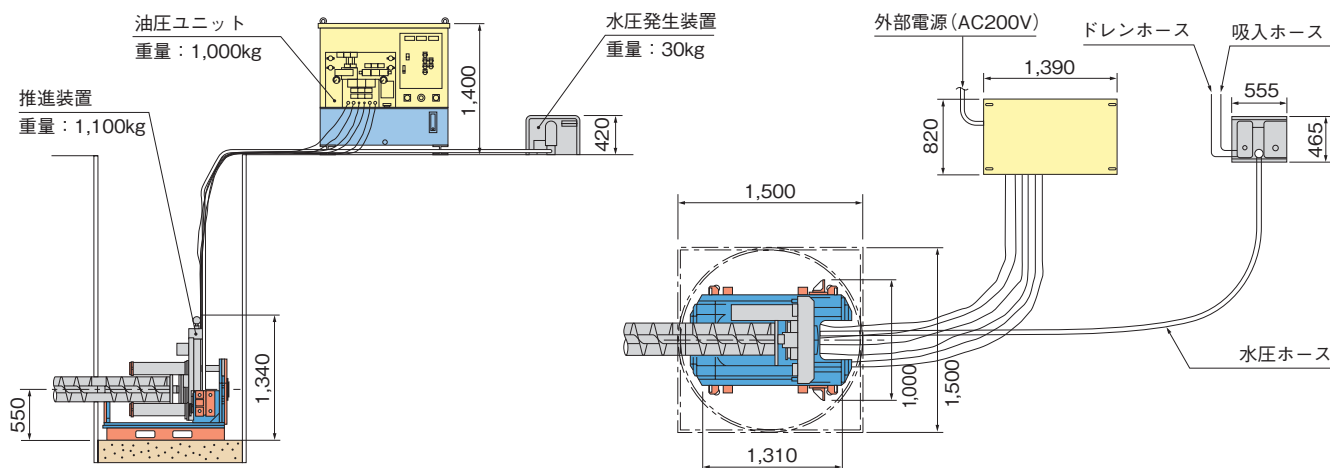
施工手順



仕様

分類・方式		低耐力力管推進工法・圧入式
適用管種・管径・管長	塩ビ管 (JSWAS K-6)	VP φ150~φ300mm・1,000L 800L
	鋼管	SGP φ150~φ300mm・1,000L 800L
	リード管推進時	圧入、無排土
	位置検出方法	TVモニタ検測
施工方法	方向修正方式	土圧バランス
	埋設管推進時	オーガ掘削、スクリュ排土
	推進距離	最大 Max.70m (土質・N値による)
	適用土質	粘土・シルト・砂質土・礫混じり土
システム	土の種類	20~30%以下
	礫混入率	呼び径 1/3以下
	最大礫径	N値 0 ≤ N ≤ 30
	N値	2m以下 (P ≤ 20kN/m²)
推進装置	水頭差	鋼矢板 (内寸) 1,500×1,500mm以上
	発進立坑	ライナープレート φ1,500mm以上
	到達立坑	人孔 φ750mm (0号) 以上
	推進勾配	矢板、ライナープレート 900×900mm (φ900mm) 以上
推進装置	下角~上角	±50%
	フィードストローク	2,940N・m (300kgf・m)
	推進力	294kN (30tf)
	推進速度	1,140mm/min
油圧ユニット	ストローク	525mm
	回転軸トルク	2,940N・m (300kgf・m)
	回転数	0~32r.p.m
	最大油圧力	21Mpa (210kgf/cm²)
発生装置	吐出力	21Mpa (210kgf/cm²)
	使用電圧×電力	22ℓ/min (推進側)・40ℓ/min (回転側)
	最大水圧力	AC200V (3相) × 15Kw
	使用電圧×電力	3Mpa (30kgf/cm²)
油圧ユニット	使用電圧×電力	AC200V (3相) × 2.2Kw
	使用発電機	25KVA以上
	先導体スピダーヘッド (外径・全長)	φ76・約420mm (ジョイント含む)
	リード管 (外径・全長)	φ60・600mm
発生装置	スクリュ、インナーチューブ (有効長)	860 (800)mm、1,051 (1,000)mm
	油圧ホース (長さ×本数)	10m × 6本

配置図



SR-50S

高精度小口径管低耐力推進工法

圧入式(スクリュ排土方式・泥水排土方式)

よりパワフルに、より高精度に。
φ2,000mmの立坑から、1mの4種類管を推進。

小口径管推進工法の人気機種「スピーダーSR-18S」をさらにグレードアップした「SR-50S」。

ヒューム管をはじめ、あらゆる管の推進を可能にした強力なパワーと

SR-18S譲りのコンパクトサイズが特徴です。

小さな立坑から高精度に推進して、作業のスピードアップと省力化を実現します。

■小さな立坑から発進可能

矢板 2,000mm(タテ) × 2,000mm(ヨコ) 以上

ライナープレート φ2,000mm 以上

■軽量・コンパクト

クレーン付4tトラック 1 台で必要部材一式が搬入搬出可能

推進機本体 / 1,640mm(全長) × 944mm(全幅) × 1,140mm(高さ)

推進機重量 / 1,200kg

油圧ユニット / 1,390mm(全長) × 760mm(全幅) × 1,550mm(高さ)

油圧ユニット重量 / 1,300kg

■適応管種・管径

塩ビ管、鋼管

φ350～φ500mm・1,000L

ヒューム管、レジンコン管

φ200～φ300mm・1,000L

塩ビ管、鋼管

φ150～φ350mm・800L

(18S部材併用で推進可能)

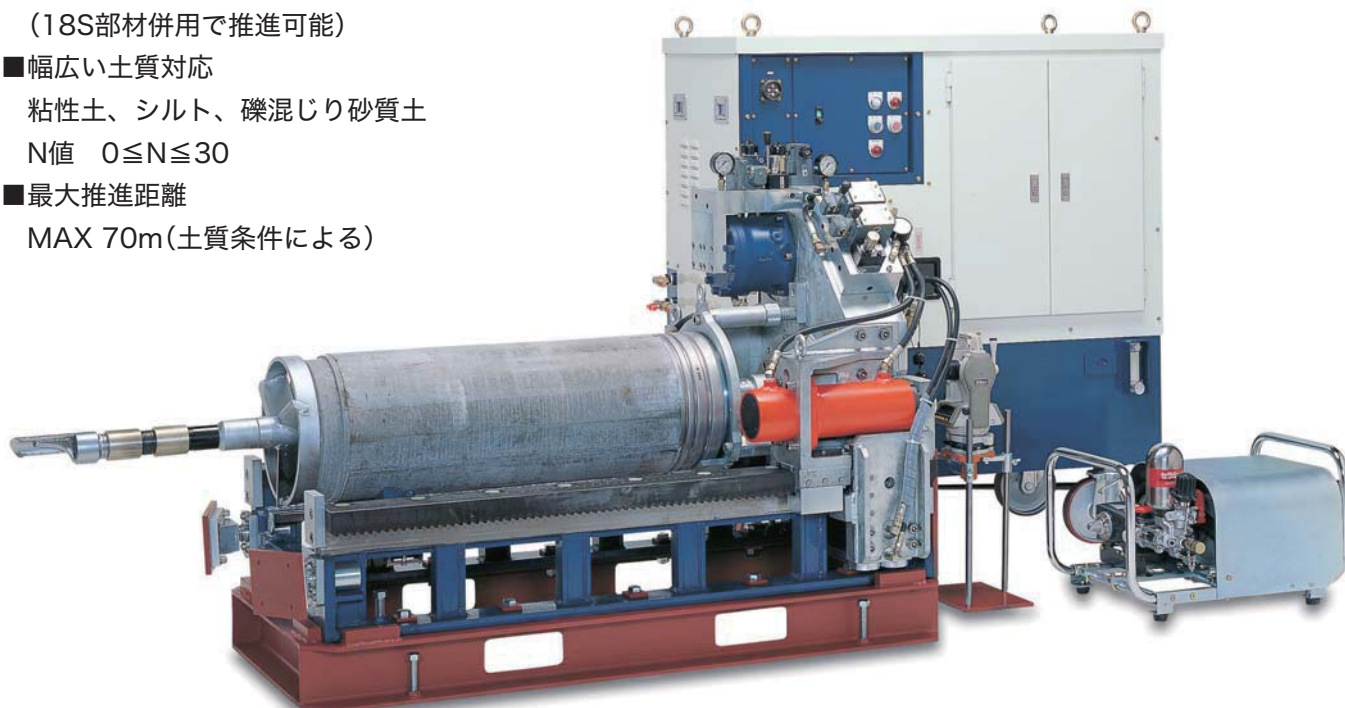
■幅広い土質対応

粘性土、シルト、礫混じり砂質土

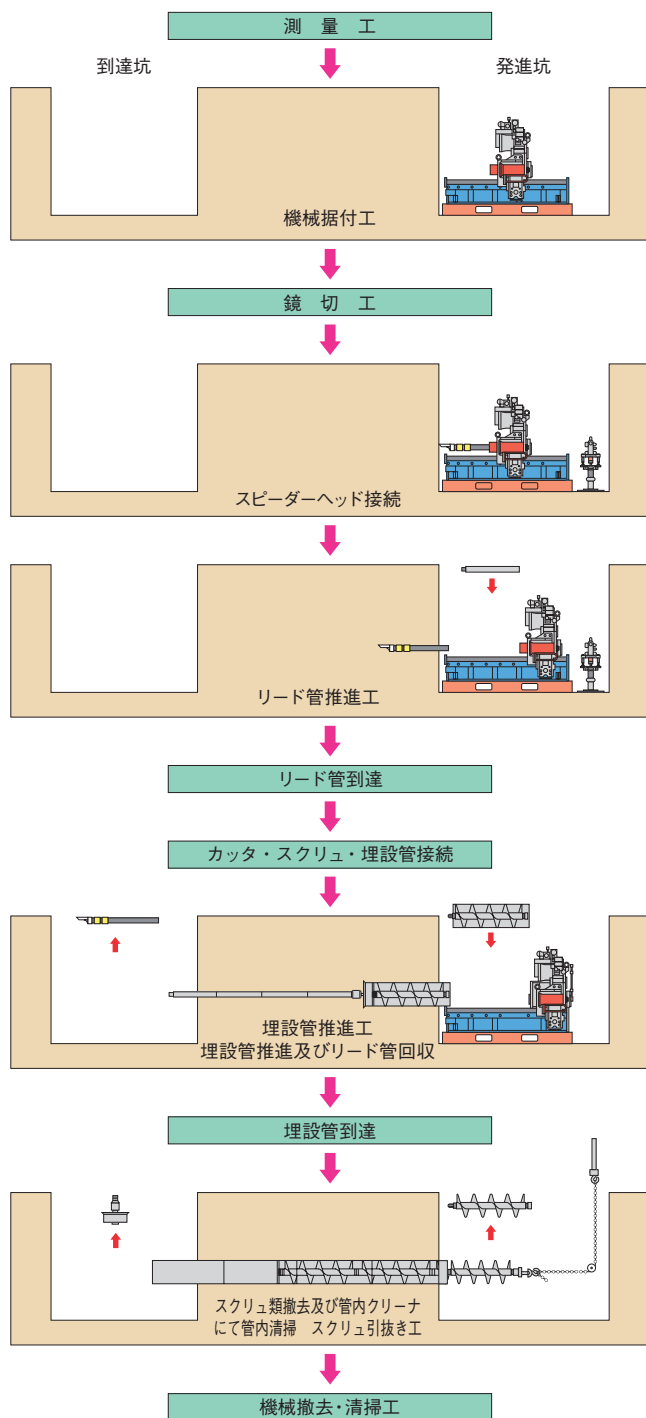
N値 $0 \leq N \leq 30$

■最大推進距離

MAX 70m(土質条件による)



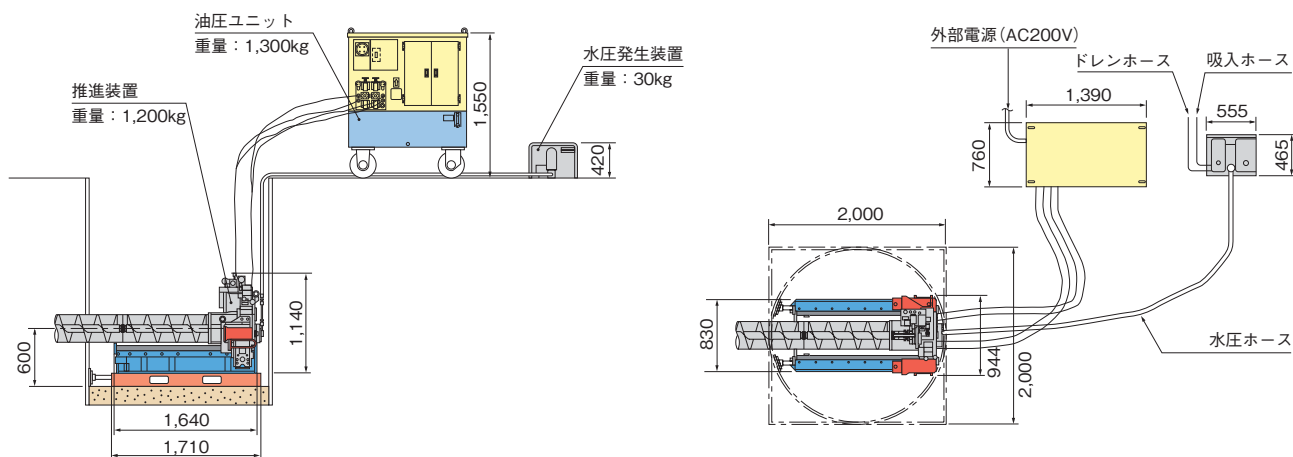
施工手順



仕様

分類・方式				低耐力力管推進工法・圧入式	
適用管種・管径・管長		塩ビ管 (JSWAS K-6)		VM φ350～φ500mm・1,000L	
		銅管		SGP φ350～φ500mm・1,000L	
		ヒューム管		HP φ200～φ300mm・1,000L	
		レジンコン管		RG φ200～φ300mm・1,000L	
システム	施工方法	リード管推進時		圧入、無排土	
		位置検出方法		トランシット検測	
		方向修正方式		土圧バランス	
		埋設管推進時		オーガ掘削、スクリュ排土	
	推進距離	最大		Max.70m (土質・N値による)	
	適用土質	土の種類		粘土・シルト・砂質土・礫混じり土	
		礫混入率		20～30%以下	
		最大礫径		呼び径 1/3以下	
		N値		0≦N≦30	
	到達立坑	水頭差		2m以下(P≦20kN/m ²)	
		鋼矢板(内寸)		2,000×2,000mm以上	
		ライナープレート		φ2,000mm以上	
		人孔		φ750mm(0号)以上	
	推進勾配	下角～上角		±50‰	
	推進装置	フィードストローク			1,200mm
		推進ジャッキ	推進力	リード管推進時	196kN(20tf)
埋設管推進時				490kN(50tf)	
推進速度			1,140mm/min		
ストローク		260mm			
回転装置		回転軸トルク	リード管推進時	1,960N・m(200kgf・m)	
			埋設管推進時	3,920N・m(400kgf・m)	
	回転数		0～32r.p.m		
油圧ユニット	最大油圧力	推進側	28Mpa(280kgf/cm ²)		
		回転側	29Mpa(290kgf/cm ²)		
	吐出力		25ℓ/min(推進側)・42ℓ/min(回転側)		
水圧発生装置	使用電圧×電力		AC200V(3相)×30Kw		
	最大水圧力		3Mpa(30kgf/cm ²)		
	使用電圧×電力		AC200V(3相)×2.2Kw		
	使用発電機		45KVA以上		
	先導体スピダーヘッド(外径・全長)		φ76・約420mm(ジョイント含む)		
リード管(外径・全長)				φ60・600mm	
スクリュ、インナーチューブ(有効長)				860(800)mm、1,051(1,000)mm	
油圧ホース(長さ×本数)				10m×5本	

配置図



SR-18S

高精度小口径管低耐力推進工法

圧入式・スクリュ排土方式

**小さな立坑から高精度推進、時代に応えた高精度&コンパクト。
幅広い土質に対応して、推進工事をスピードアップ。**

幅広い土質への対応とコンパクトなサイズで

人気を集める「スปีダーSR-18S」。

下水道工事を取り巻く厳しい条件のなかで特にパワーを発揮します。

加えて、優れた推進精度や省力化のメリットも注目の的。

全国の小口径管推進工法の現場で、頼もしい活躍を続けています。

■小さな立坑から発進可能

矢板 2,000mm(タテ) × 1,700mm(ヨコ)以上

ライナープレート ϕ 2,000mm以上

■軽量・コンパクト

クレーン付4tトラック1台で必要部材一式が搬入搬出可能

推進機本体/1,250mm(全長) × 1,000mm(全幅) × 970mm(高さ)

推進機重量/700kg

油圧ユニット/1,225mm(全長) × 575mm(全幅) × 1,150mm(高さ)

油圧ユニット重量/400kg

■適応管種・管径

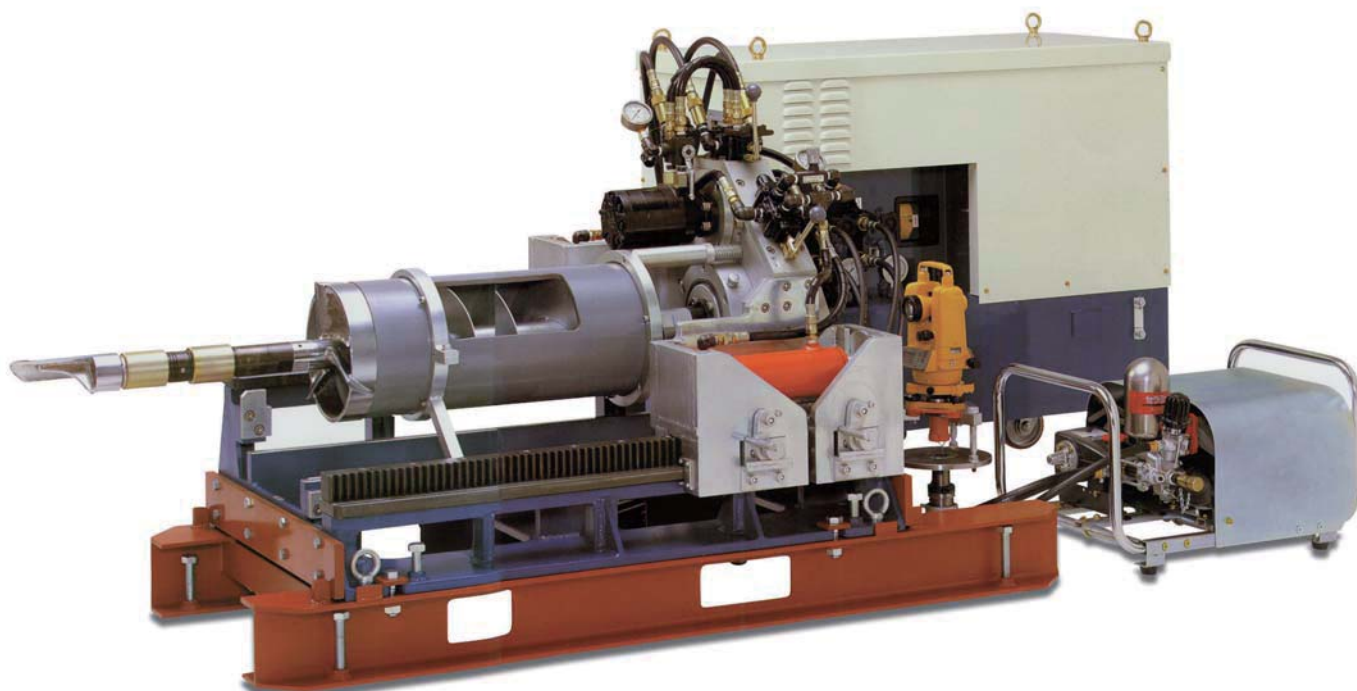
塩ビ管、鋼管

ϕ 150~ ϕ 350mm・800L

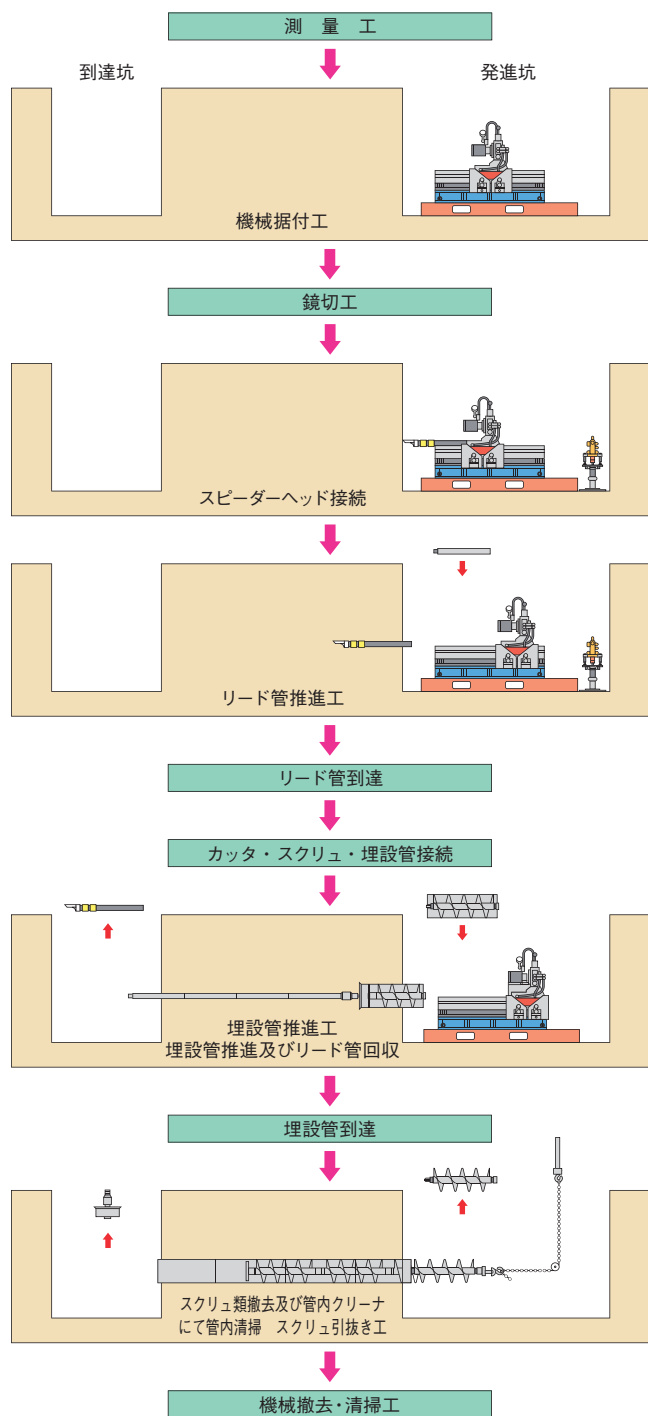
■幅広い土質対応

粘性土、シルト、礫混じり砂質土

N値 $0 \leq N \leq 30$



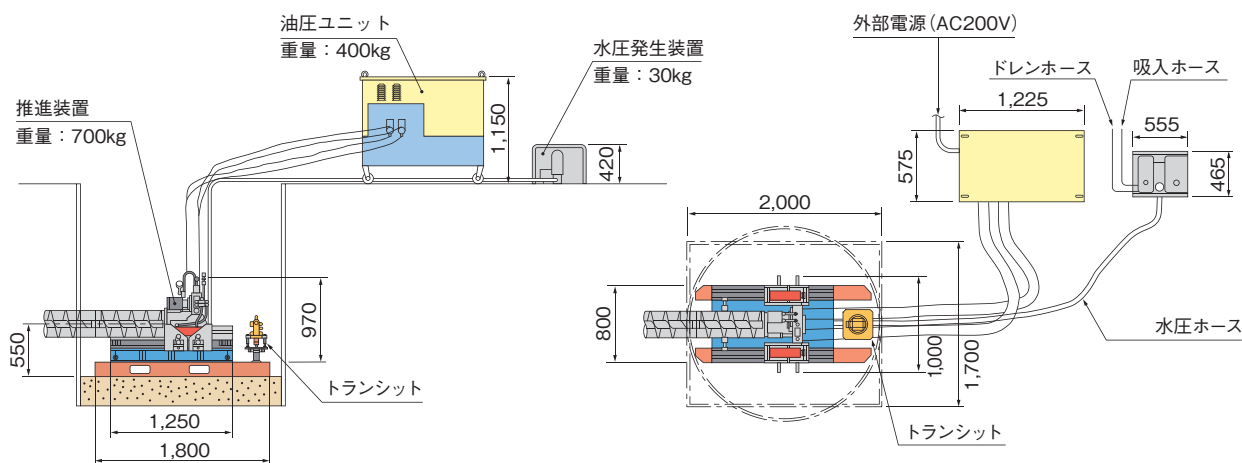
施工手順



仕様

分類・方式			低耐力力管推進工法・圧入式
適用管種・管径・管長		塩ビ管 (JSWAS K-6) 鋼管	VP φ150~φ300mm・800L VM φ350・800L SGP φ150~φ350mm・800L
システム	施工方法	リード管推進時	圧入、無排土
		位置検出方法	トランシット検測
		方向修正方式	土圧バランス
		埋設管推進時	オーガ掘削、スクリュ排土
	推進距離	最大	Max.70m (土質・N値による)
	適用土質	土の種類	粘土・シルト・砂質土・礫混じり土
		礫混入率	20~30%以下
		最大礫径	呼び径 1/3以下
		N値	0 ≦ N ≦ 30
	発進立坑	水頭差	2m以下 (P ≦ 20kN/m²)
		鋼矢板(内寸)	2,000 × 1,700mm以上
	到達立坑	ライナープレート	φ2,000mm以上
		人孔	φ750mm(0号)以上
	推進勾配	矢板、ライナープレート	900 × 900mm(φ900mm)以上
下角~上角		-45° ~ +20°	
推進装置	フィードストローク		1,000mm
	推進ジャッキ	推進力	196kN(20tf)
		推進速度	1,380mm/min
		ストローク	200mm
	回転装置	回転軸トルク	1,960N・m(200kgf・m)
		回転数	0~40r.p.m
油圧ユニット	最大油圧力		21Mpa(210kgf/cm²)
発生装置	吐出力		12ℓ/min(推進側)・24.5ℓ/min(回転側)
	使用電圧 × 電力		AC200V(3相) × 15Kw
	最大水圧力		3Mpa(30kgf/cm²)
	使用電圧 × 電力		AC200V(3相) × 2.2Kw
	使用発電機		25KVA以上
先導体スピーダーヘッド(外径・全長)			φ76・約420mm(ジョイント含む)
リード管(外径・全長)			φ60・600mm
スクリュ、インナーチューブ(有効長)			860(800)mm
中継油圧ホース(長さ × 本数)			10m × 4本

配置図



Sモール-1500

高精度小口径管低耐荷力推進工法

圧入式(スクリュ排土方式・泥水排土方式)

よりコンパクトに、より高精度に。
φ1,500mmの立坑から、1mのヒューム管を推進。

小口径管推進工法の人気機種「スピーダーSR-50S」の
機能はそのままに、さらにコンパクトにした「Sモール-1500」。
ヒューム管をはじめ、あらゆる管の推進を可能にした強力なパワー。
また、限界に挑戦したコンパクトサイズは他に類をみません。
より小さな立坑から高精度に推進して、作業のスピードアップと省力化を実現します。

■ φ1,500mm立坑から発進可能

矢板 1,500mm(タテ) × 1,500mm(ヨコ)以上
ライナープレート φ1,700mm以上
ケーシング φ1,500mm以上

■ 軽量・コンパクト

クレーン付4tトラック1台で必要部材一式が搬入搬出可能
推進機本体/1,300mm(全長) × 870mm(全幅) × 1,470mm(高さ)
推進機重量/1,350kg
油圧ユニット/1,400mm(全長) × 850mm(全幅) × 1,530mm(高さ)
油圧ユニット重量/1,300kg

■ 適応管種・管径

レジンコン管、ヒューム管、塩ビ管、鋼管
φ150～φ350mm(管種による)

■ 幅広い土質対応

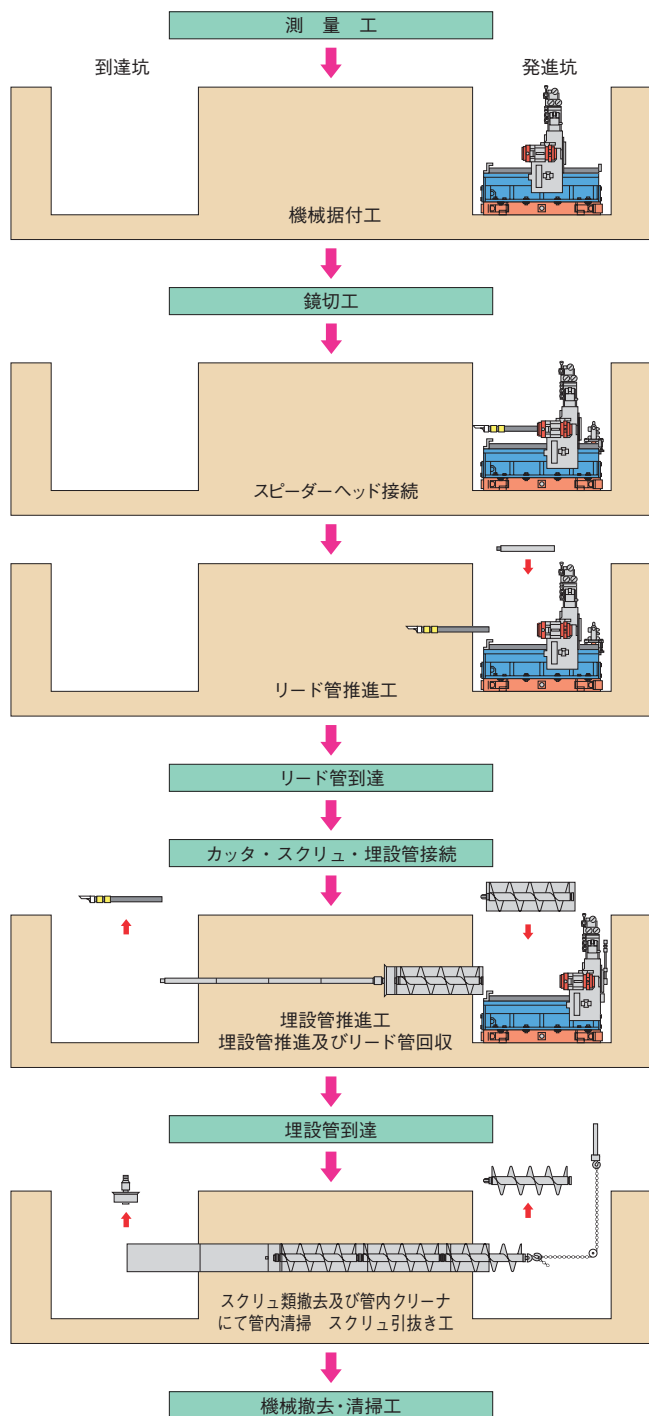
粘性土、シルト、礫混じり砂質土
N値 $0 \leq N \leq 30$

■ 最大推進距離

MAX 70m(土質条件による)



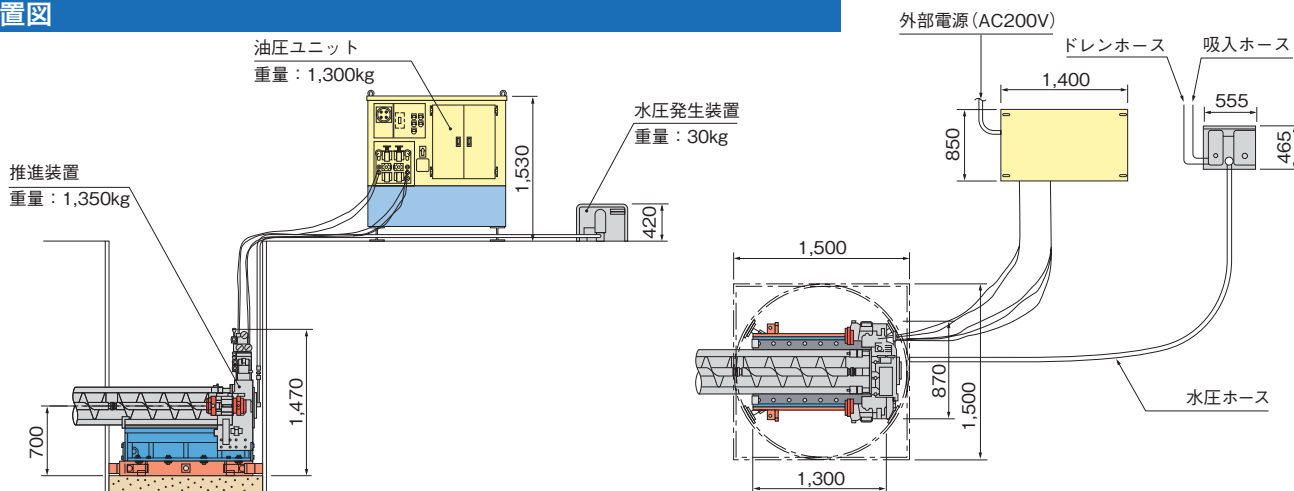
施工手順



仕様

分類・方式				低耐力力管推進工法・圧入式
適用管種・管径・管長		塩ビ管 (JSWAS K-6) 銅管 ヒューム管 レジンコン管		VP φ150~φ300mm・800L VM φ350・1,000L SGP φ150~φ300・800L SGP φ350・1,000L HP φ200~φ250mm・1,000L RG φ200~φ250mm・1,000L
システム	施工方法	リード管推進時		圧入、無排土
		位置検出方法		TVモニタ検測
		方向修正方式		土圧バランス
		埋設管推進時		オーガ掘削、スクリュ排土
	推進距離	最大		Max.70m (土質・N値による)
	適用土質	土の種類		粘土・シルト・砂質土・礫混じり土
		礫混入率		20~30%以下
		最大礫径		呼び径 1/3以下
		N値		0≦N≦30
	発進立坑	水頭差		2m以下 (P≦20kN/m²)
		鋼矢板(内寸)		1,500×1,500mm以上
	到達立坑	ライナープレート		φ1,700mm以上
		人孔		φ750mm(0号)以上
	推進勾配	矢板、ライナープレート		900×900mm(φ900mm)以上
下角~上角		±18‰		
推進装置	フィードストローク			1,020mm
	推進ジャッキ	推進力	リード管推進時	196kN(20tf)
			埋設管推進時	490kN(50tf)
		推進速度		1,140mm/min
	ストローク		170mm	
	回転装置	回転軸トルク	リード管推進時	1,960N・m(200kgf・m)
			埋設管推進時	3,920N・m(400kgf・m)
回転数		32r.p.m		
油圧ユニット	最大油圧力			28Mpa(280kgf/cm²)
	吐出力			25ℓ/min(推進側)・42ℓ/min(回転側)
	使用電圧×電力			AC200V(3相)×30Kw
	最大水圧力			3Mpa(30kgf/cm²)
	使用電圧×電力			AC200V(3相)×2.2Kw
発生装置	使用発電機			45KVA以上
	先導体スピーダーヘッド(外径・全長)			φ76・約420mm(ジョイント含む)
	リード管(外径・全長)			φ60・600mm
	スクリュ、インナーチューブ(有効長)			860(800)mm、1,051(1,000)mm
	油圧ホース(長さ×本数)			10m×5本

配置図



SR-T02

小口径管低耐荷力取付管推進機

一工程方式で簡易推進を、精度を要する施工は二工程方式で、ニーズに合わせた取付管推進機。

■軽量・コンパクト

クレーン付2tトラック1台で必要部材一式が搬入搬出可能

推進機本体／832mm(全長) × 1,110mm(全幅) × 950mm(高さ)

推進機重量／600kg

油圧ユニット／1,020mm(全長) × 620mm(全幅) × 1,150mm(高さ)

油圧ユニット重量／550kg

■適応管種・管径

塩ビ管、鋼管

φ100～φ200mm(管種による)

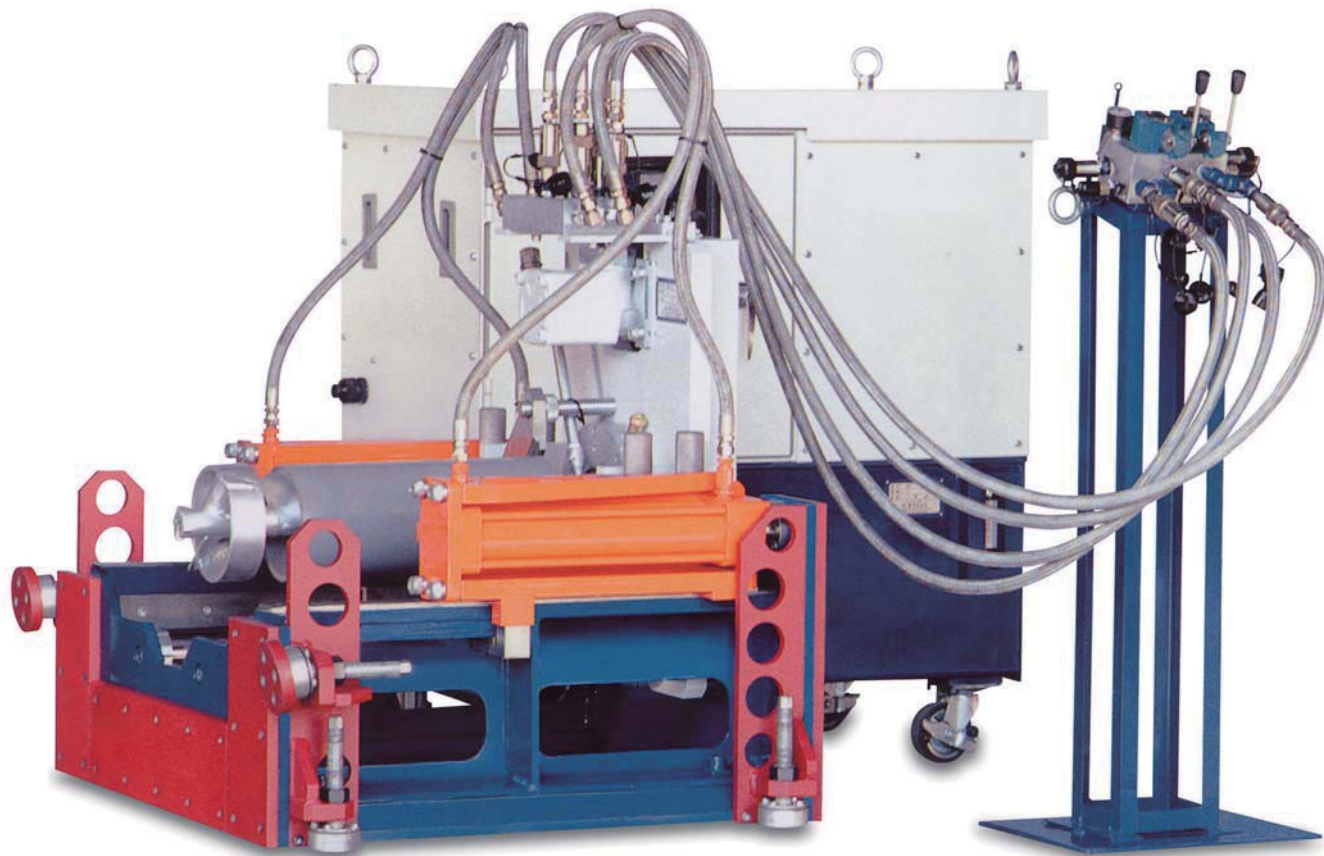
■幅広い土質対応

粘性土、シルト、礫混じり砂質土

N値 $0 \leq N \leq 20$

■最大推進距離

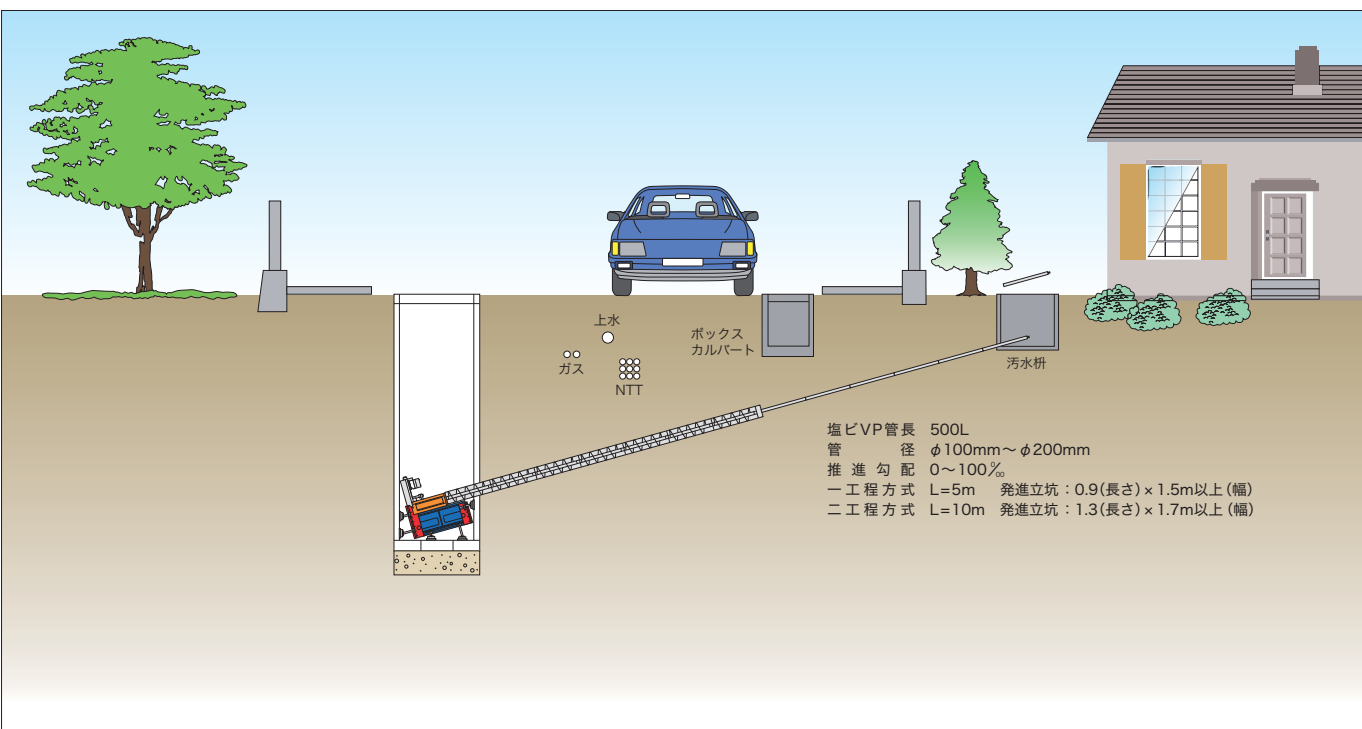
MAX 10m(土質条件による)



仕様

システム	工 法		一工程方式	二工程方式	
	排土方法	仮管推進（リード管推進）	オーガ式一工程方式	仮管併用式二工程方式	
		埋 設 管 推 進	スクリュコンベア	← --	
	位 置 検 出 方 式		_____	トランシット検測	
	方 向 修 正 方 式		_____	土圧バランス	
	適 用 管		スパイラル継手付直管（VP管）及び鋼管 φ100～φ200mm・管長500L		
	適用土質	推 進 距 離	m	標準5（高精度を要しない場合）	Max10（土質N値による）
		土 の 種 類	—	粘土・シルト・礫混じり土	← --
		N 値	—	0～20	0～20
	発達立坑	最 大 礫 径	—	管内径の1/3以下	← --
		平面 矢 板（長さ×幅）	m	0.9×1.5以上	1.3×1.7以上
		寸法 ライナープレート	m	φ1.3以上	φ1.5以上
到達立坑	管 芯 高	mm	450以上	← --	
	平面 マ ン ホ ー ル	m	φ0.75（0号）以上	← --	
	寸法 矢板（ライナープレート）	m	φ0.75×0.75以上（φ0.75以上）	← --	
	推 進 勾 配	% ₀₀	100	← --	
推進機本体	寸 法（長さ×幅×高さ）		mm	832×1,112×950（反力ジャッキ含まず）	
	重 量		kg	600	
	フィードストローク		mm	600	
	推 進 ジャッキ	推 力	kN	Max127	
		推 進 速 度	mm/min	Max1,140（50Hz時）・Max1,380（60Hz時）	
	ス ト ロ ー ク		mm	300	
	回転装置	回 転 ト ル ク	N・m	Max1,166	
回 転 数		r.p.m	Max60（50Hz時）・Max50（60Hz時）		
油圧ユニット	寸 法（長さ×幅×高さ）		mm	1,020×620×1,150	
	重 量		kg	550	
	最 大 油 圧 力		MP	21	
	吐 出 量		ℓ/min	7（推進側）・21（回転側）	
	使 用 電 圧 × 電 力		—	AC200V（3相）×11Kw	
適 用 発 電 機		—	15KVA以上		
油 圧 ホ ー ス（長さ×本 数）		—	10m×4本		
ス ク リ ュ（全長・有効長）		mm	537・500		
リ ー ド 管（外径・有効長）		mm	_____	φ60・500	

SR-T02型 推進例



SR-T01 (とりつけくん)

小口径管低耐荷力取付管推進機

一工程オーガ掘削方式

発進幅90cmから発進可能なスปีーダー工法。

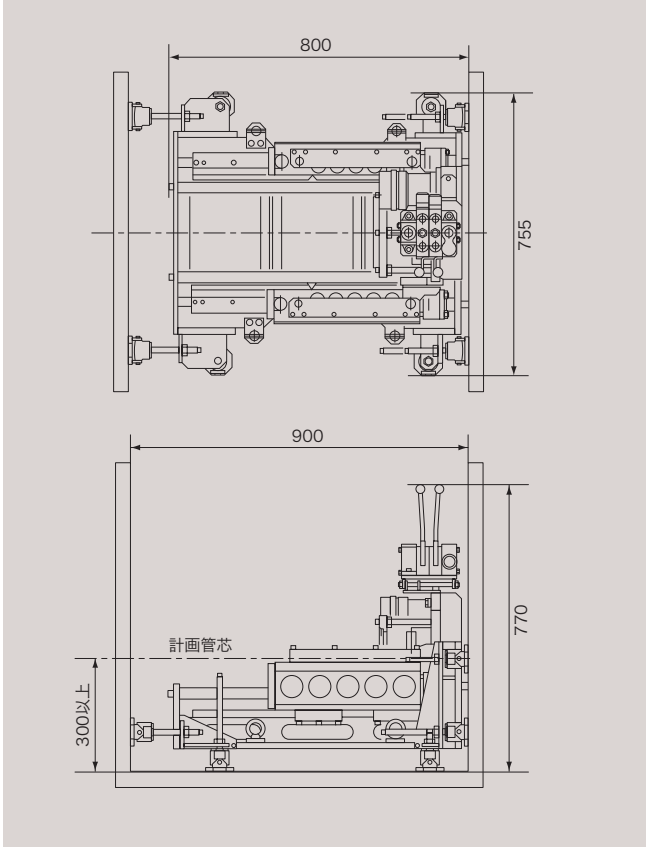
- エンジン付油圧ユニットで発電機が不要
- 900mmの開削溝から推進することで基礎コンクリート・反力板などの立坑設備が不要
- 推進機本体に反力ジャッキボルトが付いているため溶接が不要
- 軽量・コンパクト
クレーン付2tトラック1台で必要部材一式が搬入搬出可能
推進機本体／800mm(全長) × 755mm(全幅) × 770mm(高さ)
推進機重量／250kg
油圧ユニット／740mm(全長) × 462mm(全幅) × 780mm(高さ)
油圧ユニット重量／120kg
- 適応管種・管径
塩ビ管、鋼管
φ100～φ150mm
- 幅広い土質対応
粘性土、シルト、礫混じり砂質土
N値 0 ≤ N ≤ 20
- 最大推進距離
MAX 6m



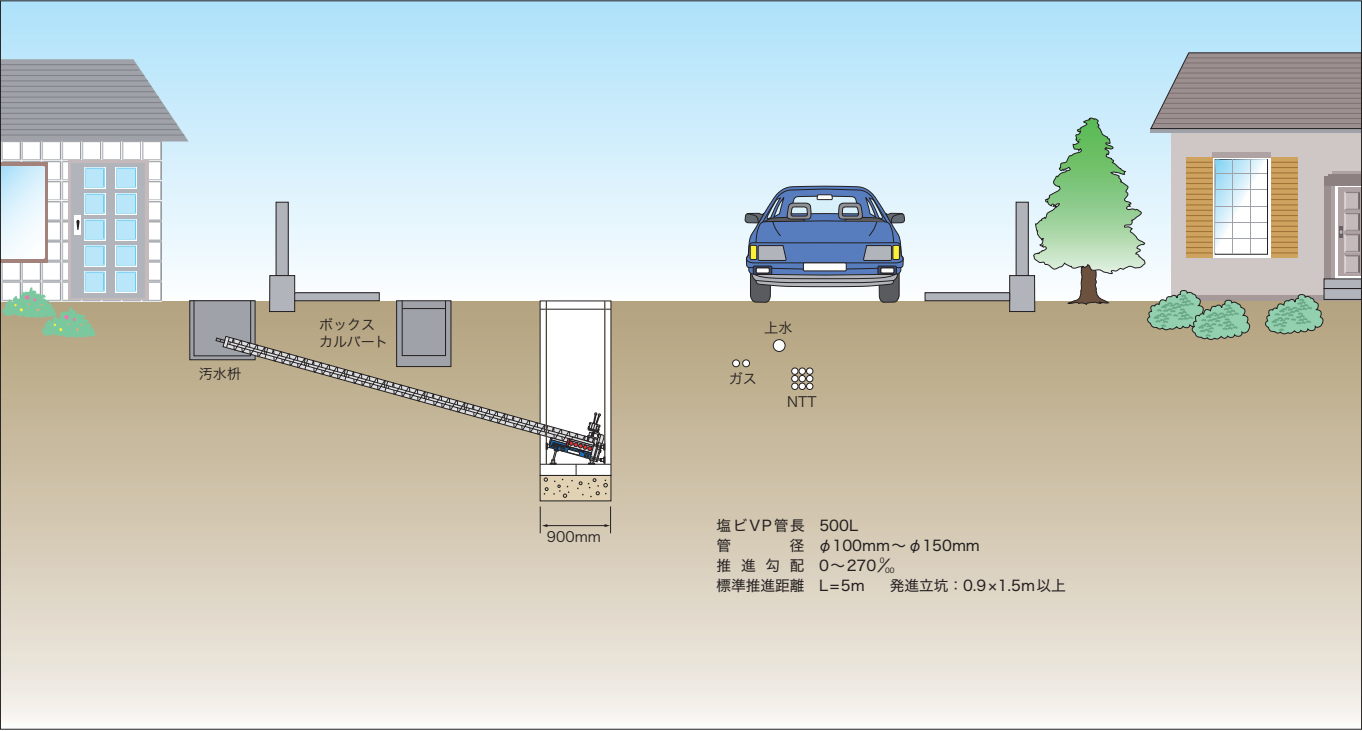
仕様

分類・方式		低耐荷カー工程方式
システム	適用管種	スパイラル継手付直管(VP管) φ100～φ150mm・管長500L
	埋設管推進	オーガ掘削、スクリュ排土
	推進距離	Max.6m (土質・N値による)
	適用土質	粘土・シルト・砂質土・礫混じり土
		N値 0～20
	発進立坑	最大礫径 管内径の1/3以下
		平面寸法(人孔) 発進幅0.9m以上
	到達立坑	管芯高 300mm以上
		平面寸法 0.5×0.5m以上
	推進勾配	270‰
推進装置	寸法(長さ×幅×高さ)	800×755×770mm
	重量	250kg
	フィードストローク	600mm
	推進ジャッキ	推進力 53.9kN(5.5tf)
		推進速度 Max.600mm/min
		ストローク 300mm
	回転装置	回転トルク 490N・m(50kgf・m)
		回転数 30r.p.m
油圧ユニット	寸法(長さ×幅×高さ)	740×462×780mm
	重量	120kg
	最大油圧力	14Mpa(140kgf/cm ²)
	吐出量	Max.16ℓ/min/2,000r.p.m
	エンジン	7.5PS/2,000r.p.m
	油圧ホース(長さ×本数)	6m×2本
	スクリュ(全長・有効長)	537・500mm

推進機設置図



SR-T01型 推進例



きよみずくんタイプI

濁水処理装置

特許申請中

独自の技術と豊富な経験を活用した、
工事用濁水、工場廃水処理に躍進している
濁水処理システム。

近年、土木建築工事の他、各種工場から発生する濁水および廃水の処理、処分に関する環境問題がしばしば発生しています。

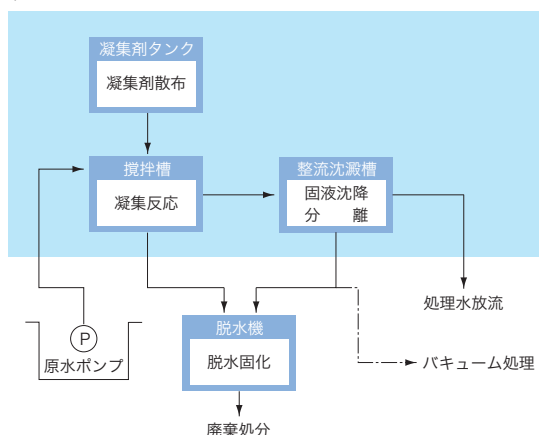
そのため、これらの処理、処分技術の改善・開発により有効で適切な処理、処分を行い、公害の発生を防止し、業務の円滑・向上を計る必要があります。水質汚濁防止のためには、濁水および廃水処理を主体とした小規模で経済的な処理設備の開発が社会的ニーズとしてクローズアップされています。

弊社が独自の技術と豊富な経験を活用して開発した処理システムは、濁水および廃水を連続的に本装置の攪拌槽へ供給し、粉体定量供給装置から調整散布される特殊凝集剤と混合攪拌することにより、濁水および廃水中の浮遊物質を凝集沈降させ、上澄み水と土粒子に分離させると同時に、水素イオン濃度(pH)浮遊物質(SS)が排水基準を満たして排水するものです。

凝集沈降した土粒子は脱水機等により脱水固化して処理します。

濁水処理工程のフローシート

タイプI・ミニ



安全・経済的な小型濁水処理装置

概要

小口径推進工事、小規模な土木工事及び各種産業の工場で発生する濁水及び廃水を連続的に本装置の攪拌槽へ供給し、特殊凝集剤（ハイパーフロック）と混合攪拌することにより濁水及び廃水中の浮遊物質を凝集沈降させ、上澄み水と土粒子に分離させると同時に、浮遊物質（SS）等の排水基準を満たして処理水を排水するものであります。また、オプションのpH調整装置を付属させる事により、水素イオン濃度（pH）の調整が可能となります。

特長

- 特殊粉体凝集剤（ハイパーフロック）の使用により、幅広い濁水及び廃水の処理が可能です。
- シンプルな構造、システムにより操作が簡単でメンテナンスも容易です。
- 小型で軽量なため、取り扱いが容易で設置占有面積が小さくて済みます。
- ベルト式真空脱水機などと組み合わせる事により、汚泥の脱水固化処理ができるので、廃棄物処分費が軽減できます。

主要諸元

きよみずくんタイプ I シリーズの主要諸元（粉体凝集剤仕様）

項 目	タイプI-AO	タイプI-AS
使 用 用 途	土木工事用濁水処理・工場廃水処理	
処 理 方 式	凝集沈殿方式	
処 理 能 力(m ³ /h)	2.5～6.0	2.5～6.0
SS 成 分 処 理 範 囲(mg/ℓ)	100～20,000	100～20,000
凝 集 剤 使 用 量(g/m ³)	50～1,000	50～1,000
凝 集 剤 タンク 容 量(ℓ)	13～50	13～50
汚 泥 引 抜 方 法	汚泥引抜ポンプ	汚泥引抜ポンプ
汚 泥 攪 拌 装 置	—	汚泥引抜ポンプと連動
設 置 寸 法(m)	2.0×1.0×2.5	2.0×1.0×2.5
本 体 重 量(kg)	800	900
電 動 機 容 量(kw)	2.59	2.99

※きよみずくんについて、お客様のご要望に合わせた特別仕様もご提案させていただきます。

※きよみずくんには上記仕様の他タイプミニがあります。

※粉体定量供給装置（特許出願申請中）の単体での製造・販売も行っておりますので、お問い合わせください。

※きよみずくんにはオプションとしてpH調整装置の付属が可能です。

※きよみずくんのレンタル機もございますので、お気軽にご相談ください。

ハイパーフロック

特殊粉体凝集剤ハイパーフロック・シリーズ

薄い濁水から高濃度泥水処理まで安価な値段で処理可能



薄い濁水から高濃度の濁水処理まで、
従来の凝集剤使用量の1/10で処理が可能

SS成分 100mg/ℓ ~ 200,000mg/ℓ
1,000ℓ当たりの凝集剤使用量15g~200g
(ハイパーフロックN型の場合)



処理前(SS成分 176,000mg/ℓ)



処理後(SS成分 25mg/ℓ 以下)

◆ハイパーフロックとは

薄い濁水から高濃度の泥水処理まで可能とした凝集剤です。ハイパーフロックN型で1m³当たりの浮遊物質質量(SS成分50mg/ℓ～200,000mg/ℓ)の濁水に15g～200gの凝集剤を散布して強撹拌で掻き混ぜる事により、今までに不可能であった濁水処理が可能になりました。従来の高濃度の濁水には多量の粉体凝集剤が必要でしたが、ハイパーフロックは少量、低コストで処理運転が可能です。

又、凝集剤が中性ですので使用量の管理が容易に行えます。更には、清水にハイパーフロックを溶け込ませても、撹拌する事により自己フロックを形成しますので、入れ過ぎによる事故トラブルがない為、安全です。

◆ハイパーフロックの使用効果

- ハイパーフロックは原料希釈を行っておらず、少量で浄化効果が現れるため、他の無機系液体凝集剤に比べて高分子の希釈設備も不要なため、処理設備のコンパクト化が可能になります。
- 濁度の低下、BOD除去、SS成分除去。
- PH6～PH14まで処理が可能です。
- 沈降した汚泥の脱水も容易です。
- 清水にハイパーフロックを混ぜても、撹拌する事により自己フロックを形成いたしますので、入れ過ぎによる事故トラブルがありません。

◆ハイパーフロックー一覧表

品 名	N 型	Y 型
用 途	土木工事用排水処理(無機排水用)	工場排水処理(有機排水用)
SS成分濃度(mg/ℓ)	50～200,000	50～20,000
性 状	灰色・粉体状・中性・無臭	白色・粉体状・中性・無臭
特 徴	高濃度排水処理が可能	低ランニングコスト

※サンプルをご用意致しますので、まずは一度お試しください。



濁水



凝集状態



沈殿状態

●本仕様は改良のため、予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

●お問い合わせは

高精度小口径管推進工法

スपीダー協会事務局

〒442-0008 愛知県豊川市南千両2丁目40番地

TEL 0533-85-5605 FAX 0533-84-9330

URL <http://www.speeder.co.jp/>

E-mail speeder@speeder.co.jp